

III - 4. 聖なる少女

さまざまな人類共同体における聖女や巫女の存在に、また、ここまで紹介してきたいくつかの作品にも窺えるように、私たち一般人と聖なる存在とを結びつける媒介のような存在として少女を描いた一群の作品が存在します。

それがもっとも端的にあらわれているのが、「神の声を聴く少女」の画題です。漢和辞典によれば「聖」という文字は「耳」という部首が示唆する「賢明さ」をその原義としています。聖人が聖人たるゆえんは神の声を聴く能力・聡明さにあったというわけです。

神的なものとの結びつきが直接に描かれた作品のほか、繁茂する植物の持つ瑞々しくも荒々しい自然の生命力のなかでそれに守られるようにして眠る少女、華奢な少女に似合わぬ大きく無骨な機械を装備するヘッドフォン少女もここに入れてみました。

美少女の
美術史

～憧れと幻想に彩られた私たちの偶像～

美少女な
わんない
じゃけて
じわんない